

- ・商標について広く深く味わう企業担当者の集まりです！
- ・親睦を深めながら、日本を始めとする各国商標法に貴方の声を反映させてみませんか？

第1小委員会ミッション

国内法対応

21世紀の商標制度のあるべき姿に関する研究を行いつつ、

(1) 会員向けの情報発信

(2) 法改正の動きに対応した、各種委員会への参画・意見表明

識別力の研究

◎3条1項該当の判断の注意点

「出願して3条拒絶を貰えば安心？」

「判断材料の見方とその落とし穴は？」など

◎3条2項適用を主張するときの注意点

「ハウスマークと一緒にだとか…」

「態様の違うものがあると…」など

⇒『知財管理』誌

“今更聞けないシリーズ”への投稿予定



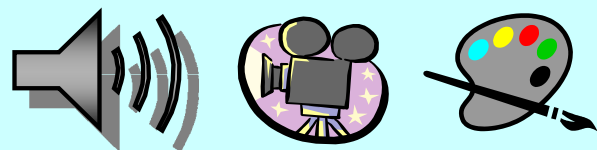
今後の法改正等への対応

◎新しいタイプ(音、動き、色彩など)の商標

・昨年度の産業構造審議会WGへの参加

・本年度の産業構造審議会委員会への対応

・特許庁との意見交換、意見具申



◎類似商品・役務審査基準改訂対応 など

様々な関係団体との間で最新情報の入手・意見提起をしています！



第3小委員会ミッション

海外商標対応

- (1) 技術・機能名称に関する各国法制度上の違いの研究
- (2) 海外商標法改正における意見発信
- (3) アジア戦略プロジェクト等への委員派遣

技術・機能名称に関する 各国法制度上の違いの研究



各企業の商標実務者にとって、製品名称のような典型的な商標ではない文字列や図形などの商標要素の方が、使用可否判断や商標登録性判断上で悩むことが多い。

そこで、当委員会では、特に実務上悩むケースの多い、企業スローガン、キャッチコピー、技術名称及び機能名称等について、各国の法制度を調べ、その登録性や識別性の違い等を研究している。

特に今年度は、研究対象を「技術名称、機能名称」に特定したうえで、日本・米国・欧州共同体(CTM)・中国の各国条文、審査基準、審査実務、判例等の情報を基に、国別チーム単位で研究を行うこととした。

当研究成果は協会会誌「知財管理」等に発表することを目標としている。

過去5年間のテーマ変遷

あるべき商標制度検討

成果物

実務に役立つ研究

2003

2004

2005

2006

2007

2008

各国法改正
／
海外商標制度

コンセント制度

地域団体商標

「輸出」

審査基準改訂

小売商標

新しい商標

協会誌掲載
(2004年9月号)

協会誌掲載
(2005年12月号)

協会資料発行
(2007年4月)

協会誌掲載
(2007年5月号)

協会誌掲載
(2009年4月号)

役務商標
制度問題

図形商標
出願戦略

権利濫用
法理

ブランド戦略

諸外国の
「商標的使用」